

令和元年 9月期 (第67回) 番組審議会 議事録 (抄)

- 1 開催日時 : 令和元年 9月25日 (水) 18:30~19:08
- 2 開催場所 : 京都府京丹後市峰山町丹波825番地の1
NPO法人京丹後コミュニティ放送 1階事務所内
- 3 委員の出席 : 委員総数 8名
出席委員数 : 7名
欠席委員数 : 1名
放送事業者 : 2名
側出席者

4 開会

理事長挨拶の後、出欠確認がなされた。

5 活動報告等

司会派遣、特別番組、緊急割り込み放送などの活動報告がなされた。

6 議題

「いなかもんログンロール・レディオ」

令和元年 9月22日 (日) 20:00~20:30 放送分

(日曜日の午後8時~ 30分番組 毎月第1、3週の更新 再放送は翌週の同時間)

7 議事概要

まず、議事録署名人として、2名にお願いをし、了承が得られた。

続いて、番組説明、番組視聴、その後審議に入る。

(局からの説明)

6月からの新番組になります。網野町出身の三浦さんと秋田県出身のはたけやまさんと2人でモロコシボーイズというユニットを組んでおられます。お互いの田舎話を中心に方言や田舎もんパワー炸裂な感じでいつもがっつりと、ほっこりするような話題をお届けしている番組です。

8 審議内容

(委員) 今までにないパターンの番組で、色々判断しかねるところがあります。

(委員) 収録方法はどうかされているのか。

(局側) お二人は丹後にいないため自身で収録をしています。録音機材がしっかり準備できないので、スマートフォンをスピーカーにして録音していますので音はすごく悪いです。

(委員) 反響している。お風呂の中なのか、電話でずっとしゃべっているのかと思った。

(委員) どこで収録しているのかと思った。

(局側) 高架下であったり、イベント会場の中だったり、2人が別々の仕事をしていますので、練習で集まっても収録できず、出先だったり、2人で行く遠征先で常に収録しています。

(委員) プロの歌手ですか。

(局側) プロとアマチュアの間になりますか、CDはアルバムを2枚出しておられます。

(委員) インパクトが強いとえば強いが、音響が悪すぎて、方言のいいところがわかりにくいのでは。

(委員) ここまでの方言でやると賛否両論があり、やりすぎという声も聴く。

(委員) 東北のローカル番組であれば方言だけでもよいのでしょうか。

(委員) 秋田の話もされているんですね。

(局側) そうですね。今回は、今2人が住んでいる近辺と秋田と網野の話をしています。秋田編の時もあり、なまはげの歌とかも歌っていますし、丹後の話で盛り上がる時もあり、普段からライブする時も方言を使ってキャラクターとして田舎を強調されています。

(委員) とりあえず音が悪い。

(委員) 聴きづらいですね。

(委員) 方言を初めて聴いたので何を言っておられるのかさっぱり、網野の話は少しはわかりましたが。なまはげの話を聴いたときはもう少しわかりやすく、少し方言が入ってもちょっとわかるように話してほしいなとも思いますし、これをこう言うところと言う話はおもしろいでしょうし、全部方言で言われるとちょっとつらいかな。

(委員) 確かに聴いている方が何をいっているのかわからなければ外国語を聴いているのと同じでは。

(委員) 地元なので、モロコシボーイズは知っていますが、方言の30分番組ではちょっと音的に厳しいのでは。5分位であれば、ライブ感もあってよいとは思いますが。音質がよくないと。

(委員) やはり方言がちょっときついな。今の若い人はあまり使わないと思います。たまに出る方言はいいですが。

(委員) 少しわざとらしい。

(委員) そうですね。音が悪いので尚更だと思います。音がよければもう少し違ってくると思います。

(委員) 曲は間に入るのか。

(局側) 曲は間に入れるのとエンディングでかけます。アーティストなので基本的には自分たちの曲を入れます。曲は後で編集で入れるので、きれいに入ると、バックでBGMも後で入れていますのできれいに入ります。

(委員) BGMがきれいに入っていて、しゃべりの音が悪いので、なおさら会話が聴き取りづらい。

(委員) 東北弁もわかるとおもしろいのですが。

(委員) 東北弁を教えてもらえるコーナーがあってもよいのでは。

(委員) なまはげは有名なので情情的にはほしいですね。例えば番組が始まったなどわかる、つかみのようなものがあるといいのでは。

(局側) なまはげをがつつりしゃべった回も過去にもありまして、秋田でやった時とか、なまはげの歌がすごく長い歌があって、その、なまはげは本来怖いものではなく、ちゃんとした意味

があって…と言うのを伝えてるような歌があって、それをしっかりと話ししながらみたいな内容もされていたことがあります。それぞれの地元を中心になるので、都会に出て東京と田舎の違いがすごすぎるみたいな話の回もありました。

(委員) 録音の仕方を考えれば、色々な地域の出身の人のコーナーがあっても。

(委員) 確かに方言でしゃべってもらうのはおもしろいが、意味がわからなければ、そこを何とかクリアしてもらえればおもしろい番組になるのでは。

(委員) とりあえず収録場所ですね。

(委員) お互いは言っている方言がわかっていると思うが、あえて意味を聴いてもらうとか。

(局側) 歌も方言で歌うのですが、歌の中で方言を言ったら、これは何たらですよっていう解説まで入れた歌まであったりして、例えば「へしこがうみゃー」って歌ったら、「へしこは鯖の何たらですよ」みたいな、バックにそういうコメントまで入れた、そんな小ネタな歌まであったりします。とにかく方言を楽しんでいただく、いなかもんを前面に出すみたいな、いなかもんログンロールレディオっていうのも、このいなかもんのログンロールっていうのが今回のアルバムの名前なんですよ。そういったように、とにかく田舎、田舎で見たくもインパクトが強いですっていうところですね。

(委員) 何かくいつくようなコーナーを検討していただけたら。

(委員) 基本音が悪いと、聞くに堪えない。もったいない。

以上、意見有（抜粋）

9 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日

前回の審議番組の内容をパーソナリティに伝え、即次回の収録分から反映した。

10 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、放送及び年月日

- (1) 「たんご・モーニング・サンド！」番組内において議事概要を放送
- (2) ホームページに議事概要を掲載及び事務所内に備え置き

11 その他の参考事項

特になし